

令和元年度益子町教育委員会活動状況評価報告

1 点検・評価について

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表をする。

(2) 目的

教育委員会の各施策・事業について着実に実施されているか、また、効果的に行われているかについて、教育委員会自ら点検・評価を行うことにより、今後より一層の教育行政を推進するとともに、町民に対し教育行政の説明責任を果たしていくことを目的とする。

(3) 点検評価の方法

点検・評価の客観性を確保するほか、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育委員会活動の自己点検・評価外部検討委員会を開催して、教育委員会の各施策・事業について各担当より説明し、外部評価委員から意見、助言を求める。

外部評価委員

氏 名	所 属 等
渡 邊 重 雄	元町議会議員
大 内 充	P T A代表
大 岡 久 江	元小学校長
日下田 欣 一	民生児童委員代表

(4) 評価方法

評定はAからDで行い、Dは改善策を示す。

- A 目標を大きく上回り優れている。
- B 目標を上回り良好であるが改善の余地がある。
- C 目標上にあり満足であるが改善すべき点がある。
- D 目標を下回り改善を要する。

2 点検・評価結果

◎評価のまとめ

(1) 教育行政全般 (評価最頻値 : A)	
ア 特に良好であった内容 なし	
イ 特に改善を要する内容 なし	改善策
(2) 学校教育 (評価最頻値 : A)	
ア 特に良好であった内容 ①小学校外国語活動の取り組みについて ②学校施設工事について ③学校給食の地元食材の取り組みについて	
イ 特に改善を要する内容 ①奨学資金の未納者対策について	改善策 未納者に対し、引き続き納付の呼びかけを行う。
(3) 生涯学習 (評価最頻値 : A)	
ア 特に良好であった内容 ①日本遺産登録に向けての働きについて ②少年スポーツ教室の開催について ③はが路ふれあいマラソンについて	
イ 特に改善を要する内容 ①地区ぐるみ体育祭について	改善策 地域の実態を把握し、事業内容の検討を行う。

〔 教育行政全般 〕

項 目	評 価 指 標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 教育行政基本方針の策定	(1) 新教育基本法を踏まえ教育行政基本方針が策定されている。	A	毎年2月、定例教育委員会で「益子町教育行政基本方針」を策定している。	A	
	(2) 教育行政基本方針を議会に公表している。	A	2月の全員協議会において説明している。		
	(3) 毎年度教育基本方針の内容を見直し、その成果を評価している。	A	成果指標のとおり目標が達成された。		
2 定例教育委員会	(1) 定例教育委員会開催の告知をしている。	A	町内3か所の告示板で告示を行うほか、広報ましこ「お知らせ版」にて告知している。	A	
	(2) 会議では適切な意見交換が行われている。	A	教育長の進行により各委員から積極的に意見が出されている。		
	(3) 定例教育委員会には全員の教育委員が出席している。	A	定例教育委員会時に日程を調整し、全員出席している。		
	(4) 会議録が整理されている。	A	会議録を整備している。		
3 教育委員会の評価と結果公表	(1) 教育委員会の活動について評価を実施している。	A	平成20年度から活動状況点検と評価を実施している。	A	
	(2) 評価結果を公表している。	A	毎年議会に報告するほか、益子町HP上において公表している。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
4 教育委員が出席する行事	(1) 委員が出席する行事は、委員間で協議し、共通理解をしている。	A	定例教育委員会において、予定表に基づき行事日程を協議・理解している。	A	
	(2) 教育委員が出席する行事は関係委員が出席している。	A	欠席とならないよう、日程の調整をしている。		
5 教育委員研修	(1) 教育委員研修は芳賀管内で連携し実施している。	A	教育事務所等を中心に連携・実施し参加している。	A	○教育委員の研修に積極的に参加している。
	(2) 研修に教育委員が積極的に参加している。	A	研修内容等を事前に検討し参加している。		

〔 学校教育 〕

項 目	評 価 指 標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
6 小学校外国語活動（英語）	（1）児童の外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地を育成している。	A	児童アンケートより「外国語活動（英語）の授業は好きである：76.7%」「外国語活動（英語）の授業に進んで参加している：86.0%」「外国語活動（英語）の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい：84.8%」「外国語活動（英語）の授業中、先生や友だちに英語を使って自分の考えを伝えることができる：75.8%」の肯定的な回答率を得た。児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができた。	A	○益子町独自の外国語活動を、これからも是非続けてほしい。
	（2）授業研究会や外国語活動研修会、授業力アップ講座を行い、授業改善への取組を推進している。	A	外国語活動研修会、授業力アップ講座等を複数回開催し、推進状況の確認と教師の指導力向上を図った。 令和元年11月11日（月）、益子小学校において研究授業、授業研究会を開催し、これまでの成果を町内外に発表できた。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
7 魅力ある学校づくり	(1) 児童生徒指導部会や研修会等を行い、小中学校が連携し、不登校やいじめを未然に防ぐことをねらいとした取組を推進している。	A	年2回hyper-QU調査及び活用研修会を実施し、指導者が帰属意識の高い学級づくりを行い、児童生徒一人一人の自己有用感を高められた。hyper-QU調査結果から、学級生活に満足している割合が、全学年で平均を上回る良好な結果を得られた。	A	
	(2) 全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査を実施し、その結果を分析し、児童生徒の学力向上に向けて、組織的に取り組んでいる。	A	各学校の学力向上改善プランの作成を支援し、学習指導に関わる検証改善サイクルを確実に運用させ、児童生徒一人一人の学力や教師の指導力の向上が図れた。全国学力・学習状況調査結果(中3対象)から、全国5位相当の良好な結果を得られた。		
	(3) 教育課程特例校制度における年間指導計画・単元計画を作成し、専科教員、学級担任主導で毎時間ALTとのチームティーチングで外国語活動を実施している。	A	益子町小学校外国語活動推進委員会を設置し、作成及び実施した。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
8 特別支援教育	(1) 対象の園児・児童生徒の様子を観察し、保護者と教育相談を行っている。	A	平成29年度から開始した各園への巡回相談(年長児対象)を令和元年度も引き続き実施。対象となる子どもの詳細な現状把握ができた。また臨床心理士・園・学校・保健センターとの情報共有をより密に行うことができ、早期から保護者との教育相談に取り組むことができた。	A	
	(2) 能力に見合った適切な教育機関への就学指導を行っている。	A	対象となる子どもの保護者に対し、知能発達検査等を実施し、客観指標をもとに就学相談を複数回実施した。指標の採用や資料等により対象児童への指導方針も明確にすることができた。		
	(3) 教育支援委員会を適宜開催している。	A	昨年度同様、各小中の担当者会議を年2回開催。入級判定基準の確認や会議資料・個別の指導計画資料の作成方法等について情報交換・共有を行った上で、教育支援委員会を開催した。結果、昨年度より適切に会議を開催することができた。また更なる向上のため教育支援委員会規則を一部改正した。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
9 備品管理	(1) 学校備品台帳のデータベース化を推進している。	A	新規購入物品についてデータ入力を行った。	A	
	(2) 既存台帳の整理を随時行っている。	A	既存台帳内容の確認を学校ごとに実施し、事務局保管台帳の加除を行った。		
10 生活適応指導教室の運営	(1) 学校生活適応指導教室の運営が円滑に行われている。	A	室長を中心に通級児童生徒に対してきめ細やかな指導助言に努め、充実した運営を行った。	A	
	(2) 通級児童生徒が在籍校へ復帰できるよう適切な指導助言を行っている。	A	今年度は8名の生徒がつばさ教室に通級した。昨年度は全員が学校に部分復帰できたが、今年度は1名部分復帰にとどまった。今後も学校と保護者との連携を深め、児童生徒が在籍校に復帰できるよう努めていく。		
11 学校施設工事	(1) 教員等学校現場の意向を反映している。	A	設計の段階から、学校と綿密に連携を図り、意見を反映させた。	A	
	(2) 事業に必要な財源の確保がされている。	A	国の補助金を活用した。		
	(3) 計画通りの工期に従い実施されている。	A	計画どおり実施した。		
	(4) 工事に伴う生徒の安全確保がなされている。	A	隔週開催されている工事打合せの中で、生徒の安全確保に努めるよう指示した。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
12 学校施設維持管理	(1) 学校の実態を十分に把握し、適切に学校施設の維持管理を行っている。	B	学校の実態を把握した上で、緊急性の高いものから順次修繕を行った。	B	
13 中学生海外派遣	(1) 中学生海外派遣事業実施委員会を開催し、派遣先やカリキュラムの検討を行っている。	A	実施委員会で検討を行ったほか、学校交流のプログラムを学校間で調整し、満足度の高い派遣を実施することができた。	A	
	(2) 派遣する中学生の事前指導・事後指導が円滑に行われている。	A	学校の協力を得て事前・事後指導が実施できた。		
	(3) 派遣中の情報収集、保護者への情報提供が適切に行われている。	A	メールにより写真などを添付し情報提供を行った。		
14 奨学資金貸与	(1) 経済的に修学が困難かつ、修学の意欲のある者に奨学資金貸与制度の周知を行っている。	A	町内中学、郡内高校に申請書を配布するとともに、広報紙で制度の周知を行った。	B	▲未納者に対して、引き続き適切な対応をお願いしたい。
	(2) 奨学資金の未納者に対する追跡調査を行い、奨学資金の適正な管理を行っている。	C	引き続き、催告書の郵送や電話、戸別訪問を継続して行う。		
15 スクールバス運行	(1) スクールバスを円滑に運行している。	A	学校からの情報提供を得て円滑に運行できた。	A	

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
16 学校給食	(1) 委託業者との連携を密にし、安全・安心な給食の提供を行っている。	A	毎日、委託業者と打合せを行い、情報共有や共通認識をもつことができ、円滑に給食を提供できた。また、衛生診断により安全・安心な現場をつくることができた。	A	○地元食材を活用し、安心・安全な給食については、とても良いと思う。
	(2) 地元食材を活用し地産地消に取り組み、安全・安心な食材の調達を行っている。	A	J Aと打合せをし、地元食材の優先的な使用に努めた。また、食材の放射性物質検査を定期的に行い、食材の安全性を確認し、町ホームページで結果を公表している。		
	(3) アレルギーに配慮した給食の提供を行っている。	A	「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレルギーを持つ児童生徒に対し面談等を行い、除去食の提供を適切に行った。		
	(4) 給食費の未納対策を行っている。	A	学校と連携し、未納解消に努めた。		